



地域スポーツクラブにおける社会貢献活動と事業活動の両立

～NPO法人 Field of Dreamsの活動を事例として～

○福村 拓良(NPO法人 Field of Dreams)

飛田 努(熊本学園大学)

種子田 穰(立命館大学)



NPO法人 Field of Dreamsとは？

< 設立 >

- ◆2004年3月、プロ野球選手・大家友和が中心となり、滋賀県草津市に設立

< 理念 >

- ◆スポーツを通じての社会貢献

< NPO Field of Dreams(FOD)のバックボーン >

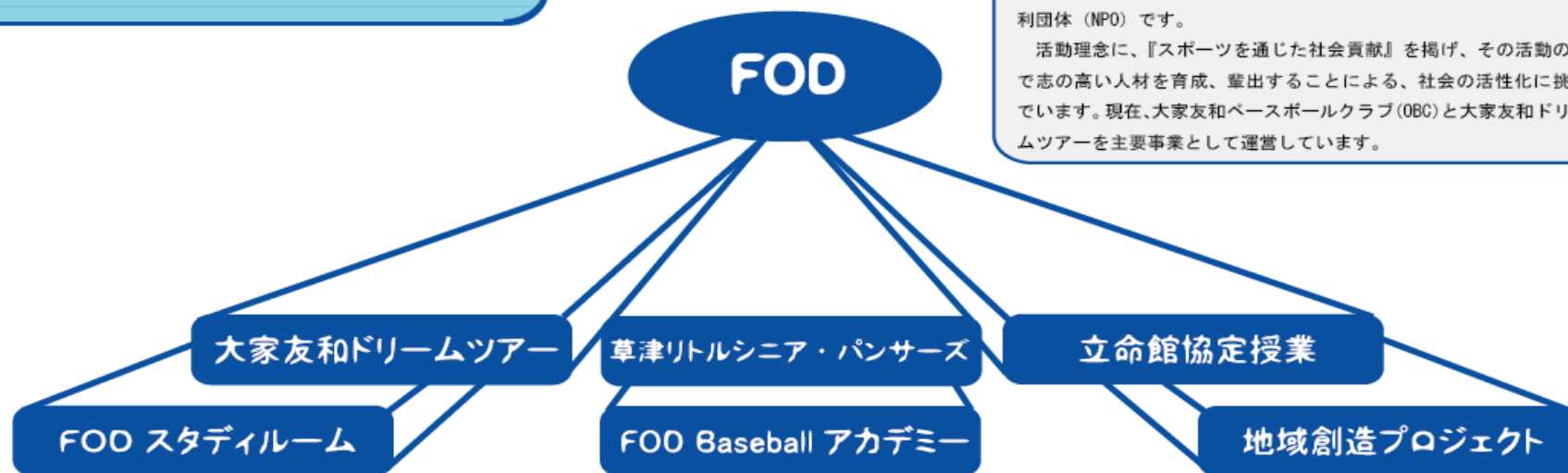
- ◆大家友和の想いと経験がもととなっている

チャレンジ支援を通じた人材育成・青少年の成長支援



NPO法人 Field of Dreamsとは？

NPO 法人 Field of Dreams とは？



2004年にプロ野球選手・大家友和（おおか ともかず）が中心となり設立された「スポーツと夢」をテーマに活動している特定非営利団体（NPO）です。

活動理念に、『スポーツを通じた社会貢献』を掲げ、その活動の中で志の高い人材を育成、輩出することによる、社会の活性化に挑んでいます。現在、大家友和ベースボールクラブ（OBC）と大家友和ドリームツアーを主要事業として運営しています。



草津リトルシニア・パンサーズ(中学生硬式野球チーム)



- ◆2004年に大家選手の「正しい野球を伝えたい」という思いから発足
- ◆大家友和ベースボールクラブ・中学生チーム
- ◆創部6年目となる今年、所属選手は80名を超えて地域最大のチームに
- ◆過去5年間で、全国大会6度出場(春、夏合わせ)

大家友和ドリームツアー

- ◆2001年から実施されている日本の子供たちを大家選手のいる米国に招待するツアー
- ◆2001年～2009年 計9回実施 95名の子供たちが参加
- ◆参加者の大半は、児童養護施設に住む子供たち(社会的にハンディキャップを持つ子達)
- ◆米国では、大家選手との交流、地元の子供たちとの文化交流、スタッフによる夢教室などを行い、自分たちの夢について真剣に考えるプログラムを行う





立命館大学協定授業「地域スポーツクラブの育成」



- ◆立命館大学と協定し「地域スポーツクラブの育成」を開講
- ◆協定授業では、FODの活動を教材としながら、地域スポーツクラブの社会的な位置づけや果たすべき役割を学ぶ
- ◆広報物の作成や地域スポーツイベントの企画、運営を課題として、社会において役に立つ実践力を養う

学習塾・野球塾の運営 収益事業としての事業

『学習塾 FODスタディールーム』

草津パンサーズの所属選手対象の学習塾。少人数制の学習塾で基礎学力養成による学力アップが目的。パンサーズの方針である文武両道の「文」を支える活動。

『野球塾 FOD Baseballアカデミー』

2009年春に開講した小学生を対象とした野球の技術サポートを行う野球塾。春開講の打撃編に続き、2009年秋に守備・投手編を開講予定。





NPO法人 Field of Dreamsの活動

- 2001年 第一回大家友和ドリームツアー ※有志で開始
- 2004年 NPO法人 Field of Dreams設立
大家友和ベースボールクラブ(OBC) 中学生チーム設立
立命館大学協定科目「地域スポーツクラブの育成」開講
- 2005年 OBC 社会人クラブチーム設立構想
- 2006年 社会人クラブチーム「OBC高島」設立
- 2008年 OBC高島 株式会社としてFODから独立
- 2009年 学習塾 FODスタディールーム開講
野球塾 FODベースボールアカデミー開講
その他収益事業、イベント運営、施設管理、コンサルティング

(参考)

大家友和ドリームツアー 2001年～現在 計9回 95名参加

立命館大学協定科目「地域スポーツクラブの育成」 2004年～現在



FODの現状と課題

<現 状>

理念や目標は、取り組みによって具現化されてきている

スポーツを通じての社会貢献
人材育成・青少年の成長支援



2004年にプロ野球選手・大家友和（おおかともかず）が中心となり設立された「スポーツと夢」をテーマに活動している特定非営利団体（NPO）です。

活動理念に、『スポーツを通じた社会貢献』を掲げ、その活動の中で志の高い人材を育成、輩出することによる、社会の活性化に挑んでいます。現在、大家友和ベースボールクラブ（OBC）と大家友和ドリームツアーを主要事業として運営しています。



FODの現状と課題

<ドラッカー(1990)『非営利組織の経営』>

◆非営利組織の運営に必要な経営資源

- ①プランニング
- ②マーケティング
- ③人材
- ④資金

<NPOを取り巻く環境>

- ◆全国で1／10の近くの法人が解散、休眠団体も多数
- ◆寄附中心の財政、税制的にまだまだ整備されていない
- ◆思い◎ 経営ノウハウ・資金確保ノウハウ△



FODの現状と課題

＜多くのNPO団体の幻想＞

思いを持って、良いことをすれば、お金が集まるという幻想



しかし、思いや良いことをするだけでは、お金が集まらない現実



お金がないと活動を継続できない



良いことを続けていくためには、お金が必要



お金を集めるためには、戦略とマーケティングが必要



FODの現状と課題

<FODの人的資源・活動資金の現状>

- ◆専任事務局員 2名 インターン2名
- ◆主な収入は寄付金 大口スポンサーの不在
- ◆事業収支は赤字が続いている状態
赤字補填は、理事メンバーの資金援助

<FODの課題>

- ◆人的資源の確保、運営資金の確保
= ヒト、モノ、カネの慢性的な不足

⇒多くのNPO団体と同じ課題を抱えている



課題克服に向けたFODの新たな事業展開

<新たな事業展開の模索>

活動理念に立ち返り、新規事業を模索

<理念>

スポーツを通じた社会貢献

= チャレンジ支援を通じた人材育成・青少年の成長支援

社会で活躍しうる人材を育成・輩出する

志を高く、自分の夢を追い続ける活力のある人材の育成

新規
事業

⇒ 学習塾 FODスタディールーム

⇒ 野球塾 FOD Baseballアカデミー

⇒ 地域イベント運営(障害者支援、子供支援)



課題克服に向けたFODの新たな事業展開

＜新たな事業展開によってもたらされつつあるもの＞

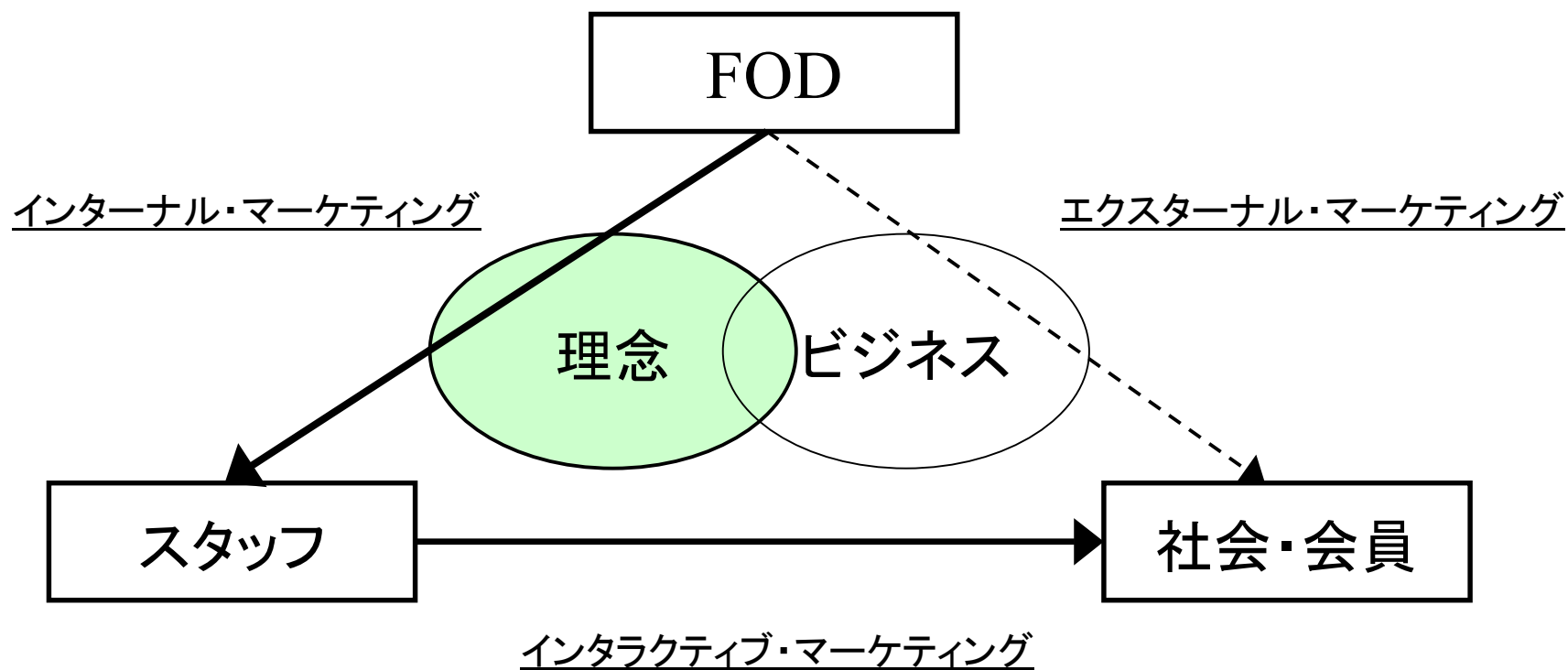
1. 安定的な収入源の確保
 - ・学習塾、野球塾の運営
2. 近隣の大学生や地域住民の協力
 - ・塾講師、インターン、ボランティア
3. 協定授業出身者たちによるサークル設立
 - ・イベント運営サークル 授業OBの受け皿
4. 地元の企業やスポーツクラブとの関係構築
 - ・収益事業の展開によって関係構築

徐々に経営基盤が構築され始めている



まとめ 今後の経営課題

＜人や資金を引きつけるマーケティング活動＞

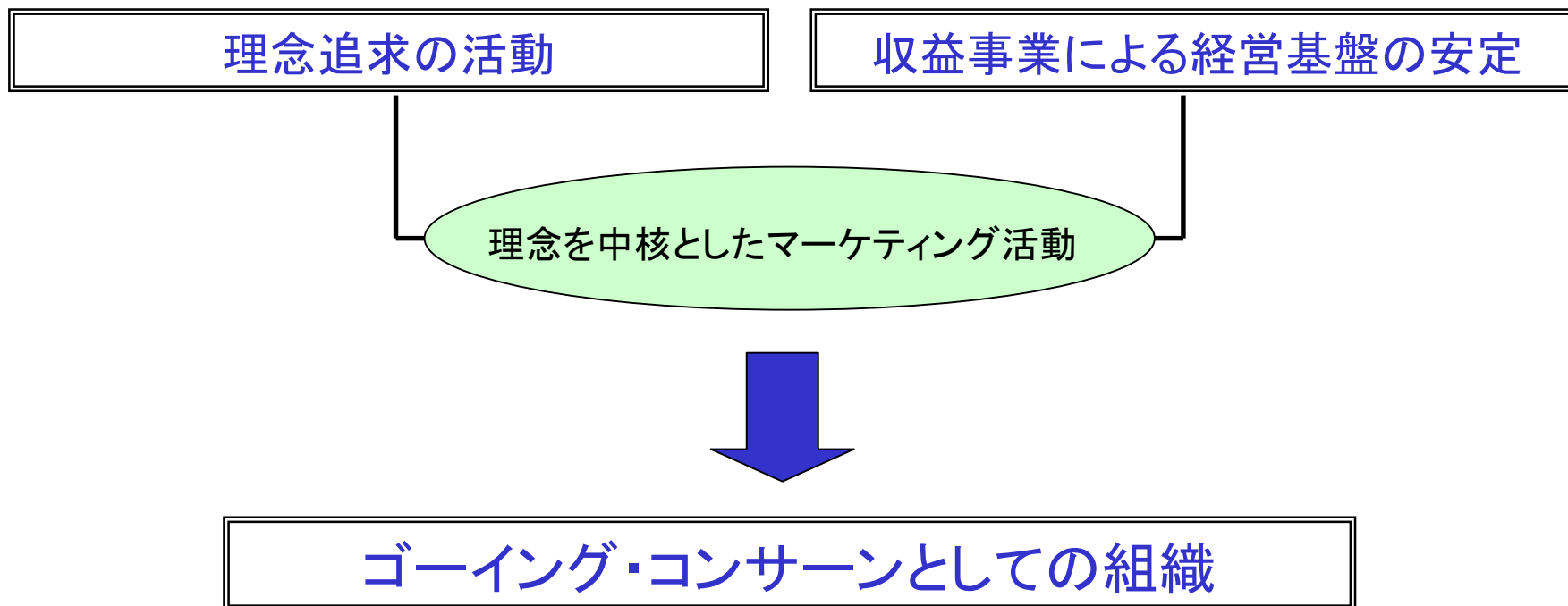


出典：コトラー＆ケラーのマーケティング・マネジメント、510頁をもとに作成



まとめ 今後の経営課題

<目指す組織像>





お問い合わせ

ご質問や問い合わせがある方は、お気軽に連絡下さい

NPO Field of Dreams (担当: 福村)

E-mail: takufukumura@field-of-dreams.jp

TEL: 077-566-8016 Cell: 080-3788-4125